

## 2 かさんの「MFJ 北海道エンデューロ選手権」 第4戦・第5戦 観戦レポート（前編）

—2023.9.16～9.17 日高—



9月16日～17日、4年ぶりに開催された JEC 第5戦「日高ツーデイズエンデューロ」のスタッフとして事務方の手伝い行ってきました。

この大会は今年6戦が計画されている全道選「MFJ 北海道エンデューロ選手権」の第4ラウンド、第5ラウンドを兼ねており、次期昇格を狙う道内ライダー（公道仕様車を持つライダー）にとってはポイントを稼ぐ大事な大会となっています。

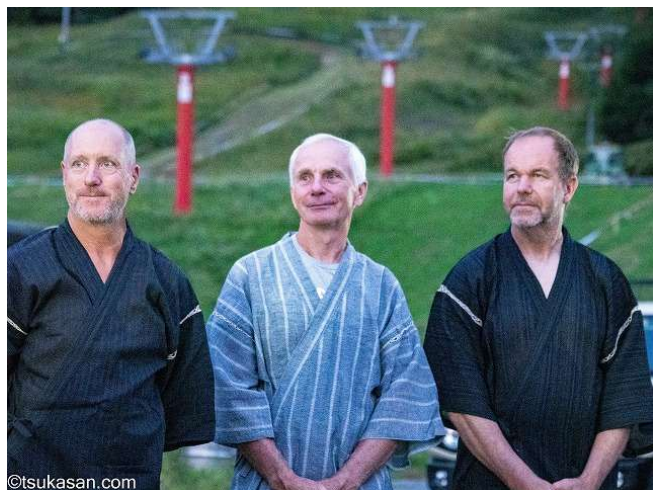
今年の HTDE の参加台数は「4年ぶり」そして「新たにオープンクラスが設けられた」ということもあるのか、昨年のルスツ大会に比べて約3倍。全体で236台の参加台数となりました。

公認クラスは IA クラスが26台、IB クラスが40台、NA クラスが22台、NB クラスが67台、W クラスが4台の計159台。

オープンクラス（エンジョイライセンスでエントリーできる承認クラス）は A クラスが19台、B クラスが35

台、Cクラスが13台、CWクラスが10台の計77台と、昨年の83台に比べて3倍の出場台数となっていました。

地元北海道の参加ライダーはもちろんのこと、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、九州から。そしてこの大会は2015年からFIMの準国際競技会に登録しており、カナダ、オーストラリア、イギリスから6名の選手がエントリーしていました。



さて本大会での自分のミッションは、大会前の事務方の手伝いとレース二日間のタイムチェックポイントの管理。コース内6箇所のTCで使用する電波時計や筆記用具等、マニュアル等を事前に整えて、レースでの時間管理が円滑・適正に行われるようにするのが役目です。



そしてその業務の隙間を利用してレースの模様を記録し道内のオフロードレース普及のためにレポートを作成すること。日高のレースはTCポイントが多く、TC間の距離も離れているので、選手のアグレッシブな写真をじっくり撮るのが難しいけど、今回は何とか2日間の業務の隙間を狙って、ミシマとスキー場のテストの一部だけ写真を撮ることができました。

## <レースの前日\_金曜日>

いつもだと水曜日か木曜日に出かけるのだけど、今年は事情があって金曜日の午後に現地入り。

日高高原荘に着くと会場では受付をする人や車検を受けるライダーたちが並び始めており、公道走行の装備等をチェックする車検スタッフたちは大忙しのようでした。



夕方（17:30～）に開会式が行われ、われら日高モーターサイクリストクラブの代表である神保実行委員長の挨拶や開催町である日高町の鳶日高町副町長の挨拶などをいただき、そのあと簡単なブリーティングが行われました。



## <レース 1 日目の朝\_土曜日>

早朝、5 時起きで会場入り。7 時 50 分から役場や自衛隊のお手伝いをいただく関係者とのブリーフィングを行い、そのあとスタート周りの時間管理に必要な電波時計の設置、タイム設定表やタイムカード等を担当役員に手渡ししながら、それぞれのミッションを確認します。



この日のレースは予定どおり 8:30 に IA クラスの一組目からスタート。TC1~TC6、プレフィニッシュと順調に回れば 14 時 33 分にフィニッシュします。

1 日目の自分は各 TC ポイントに選手が到着する 45 分前に準備ができているか車で回って確認します。



## <レースの模様>

スキー場テストのスタート直後の様子。



## ●IA クラス



IA クラスは 2  
日間の総合成  
績でゼッケン 1  
番の馬場亮太  
選手が優勝し  
ました。

IA クラス総合 2 位はゼッケン 2 番の釘村忠選手。



総合 3 位はゼッケン 6 番の保坂修一選手でした。



## ●IB クラス

IB クラスはゼッケン 128 番の高橋吟選手が総合優勝しました。



IB クラス総合 2 位はゼッケン 101 番の星野利康選手。 総合 3 位はゼッケン 100 番の藤村昂矢選手でした。



## ●NA クラス



NA クラスはゼッケン 327 番の羽田真吾選手（北海道）が総合優勝しました。



NA クラス総合 2 位はゼッケン 310 番の野城良浩選手。

総合 3 位はゼッケン 349 番の中木原純選手でした。



## ●NB クラス

NB クラスはゼッケン 460 番の荻野正彦選手（北海道）が総合優勝しました。



NB クラス総合 2 位はゼッケン 403 番の三浦敦選手。 総合 3 位はゼッケン 504 番の兼村知浩選手でした。



## ●ウイメンズクラス



ウイメンズク  
ラスはゼッケ  
ン 206 番の  
Mia.Hacking  
選手（カナダ）  
が総合優勝し  
ました。

## ●オープンクラス

Aクラスの優勝はゼッケン 700 番阿部道夫選手。



Bクラスの総合優勝はゼッケン 616 番遊佐圭伸選手



※ Cクラス、CW クラスは時間の関係で撮れませんでした。



ゼッケン 718 番の中江優介選手 (IA) は YAMAHA TW225 でオープン A クラスに出場。



ゼッケン 705 番の和泉拓選手は YAMAHA テネレ 700 でオープン A クラスに出場。



©tsukasan.com



©tsukasan.com



©tsukasan.com

今年 7 月に他界した我らが仲間のクニさんも走っていました。



ライダーは永田邦彦さんの弟の永田智広選手 ⇒



ライダーの皆さん、スタッフの皆さん、満面の笑顔をありがとう！！

来年も日高でお待ちしていますので是非来てくださいね！！



<後編に続く>